

戦没者追悼式に250人 冥福祈り恒久平和を誓う

8月22日、山田町戦没者追悼式が町中央公民館で開かれ、遺族や来賓など250人が出席しました。黙とうの後、主催者を代表して沼崎喜一町長が「今日の平和と繁栄は、戦没者の方々の尊い命の犠牲の上に築かれたことを忘れることなく、町民の皆さんと手を携え、心新たに全町民の福祉に万全を期すべく努力することを誓います」と式辞。続いて昆暉雄町議会議長、藤原一二三^{ひふみ}県遺族連合会長、山崎幸男^{ゆきお}町戦没者遺族連合会長らが追悼の言葉を述べました。この後参列者全員が祭壇に白菊をたむけ、戦没者の冥福を祈るとともに永遠の平和を誓いました。



商工会青年部が花火大会を開催 夜空彩る花火に盛んな拍手

8月15日、山田町商工会青年部（武藤庄一郎^{しゅういちろう}部長）が主催する「第3回やまだの花火大会」が山田漁港を会場に開催されました。大会の開催にあたっては、町内100カ所に設置された募金箱に町民の皆さんから63万円を超える募金があったほか、町内の企業や団体からたくさんの協賛が寄せられました。当日は花火に先立ち午後3時からカラオケ大会が開かれ、35人の参加者が自慢の歌声を披露。午後8時に花火の打ち上げが始まると、大型の芸術玉やスターマインなど3000発以上が夜空を彩り、会場を埋め尽くした1万人以上の観客からは盛んな拍手が送られていました。

ふるさと山田樂講座を開催 牧庵鞭牛和尚の功績を学ぶ

古里の歴史を楽しく学ぶ「ふるさと山田樂講座」が7月24日と8月7日、町中央公民館で開催されました。町文化財保護審議会委員の佐藤仁志^{ひとし}さんと川端弘行^{ひろゆき}さん、宮古市文化財保護審議会委員の佐々木健^{たけし}さんを講師に行われ、2日間で延べ130人が受講。江戸時代、飢饉に苦しむ民衆のため、通行や物資の輸送が安全にできるようにと道づくりに生涯をかけた牧庵鞭牛和尚の思いと、それを支えた山田の人々との関わりをテーマに講義を行いました。この中で「自分の利益を一切顧みず、苦しむ人々のため道を開いてきた先人たちのおかげで今のわたしたちがある。より良い世の中を作るために、その思いを受け継いでいこう」という講師の呼び掛けに、受講した皆さんは真剣に聞き入っていました。

